

2 競技上の注意

■ 競技について

- (1) 3ペアまたは4ペアによる予選トーナメントを行い1位のみ決勝トーナメントへ進出する。
- (2) 決勝トーナメントは、フリー抽選とする。ただし原則として、1回戦では同校対戦とならないように配慮する。
- (3) 男子Aクラス、女子ABCは1日間で決勝戦まで実施する。
- (4) 男子BCクラスはできる限り進行する。残った試合は後日に行う。後日の受付時間には注意すること。
- (5) 全ての試合終了後、表彰式を行う。表彰は4位まで行う。

■ 棄権による選手変更について

- (1) 下クラスからは補充できるが、上クラスからは補充できない。詳しくは以下の通り。
 - ・ Aクラスには、どのクラスにも出場していない生徒、又はBCクラス出場の選手
 - ・ Bクラスには、どのクラスにも出場していない生徒、又はCクラス出場の選手
 - ・ Cクラスには、どのクラスにも出場していない生徒
- (2) 上記規定に該当しない選手が出場する場合は、予選初戦とコンソレのみ行う。
- (3) 変更は、受付時に名前を連絡すること。
- (4) 選手変更ができないときの参加料の返却は行わない。
- (5) 補充することで、雨天等で2つのクラスで上位進出し試合日程が重なったときには、上位クラスを優先すること。

■ 試合の方法について

クラス	A	B	C
予選トーナメント	1セットマッチ	6ゲーム先取ノーアド (5-5タイブレーク)	6ゲーム先取ノーアド (5-5タイブレーク)
決勝トーナメント	1セットマッチ	1セットマッチ (場合によってはノーアド)	1セットマッチ (場合によってはノーアド)

■ 試合進行について

- (1) 試合を行うコートを確認し、若番の選手は本部にボールと審判用紙を取りに来る。
- (2) 控えのコート付近に待機し、前の試合が終了したら直ちにコートに入る。
遅れた場合には、ペナルティを課すことがある。
- (3) 試合前のウォームアップは、トスによるエンド決定の後に開始し、サーブ3本のみとする。
- (4) 選手は審判の指示に従い、20秒ルール・90秒ルールを守ること。
- (5) 勝者は、試合終了後、審判用紙を持って直ちに本部に結果を報告する。
- (6) 敗者は、試合で使用したボールを受け取りコートに残って次の試合の審判を行う。
- (7) オーダー・オブ・プレー表により可能な限り進行するが放送による指示を行うこともある。

■ 審判について

- (1) 各コートの第1試合はセルフジャッジとする。
- (2) セルフジャッジで試合を行う場合はサーバー側がカウントをコールする。
- (3) 各コートの第2試合目以降は敗者審判とする。
- (4) 主審は、自信を持ってジャッジを行い、プレイヤーに聞こえるようはっきりとコールする。
また、カウントのコールと審判用紙の記入を行う
- (5) 副審は、担当ラインのジャッジを自信を持って行き、プレイヤーに聞こえるようはっきりとコールし、大きなジェスチャーを行う。

■ 服装等について

- (1) 試合時の服装は「清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウエア」とする。
Tシャツは認めない。
- (2) ウォームアップウェアの着用は、原則として認めない。雨天や気温の低下等の場合は、各会場担当者の判断で着用を認める。
- (3) ゼッケンの着用を励行する。
- (4) ラケットのストリング上のロゴは認めない。

■ コンソレ（予選トーナメント初戦敗者戦）について

- (1) 試合形式は、全てのクラスにおいて6ゲーム先取ノーアド（5-5タイブレイク）で行う。
- (2) 予選トーナメント初戦敗退者同士による対戦を1ペア1試合ずつ行う。
- (3) 進行は運営に従うこと（決勝トーナメントの進行を優先し、空いたコートで行う）
- (4) 前試合の敗者による審判が不在の場合は、セルフジャッジで行う。
- (5) ボールは、若番が敗者としてもらったボールを使用する。
- (6) コンソレ敗退後の2回目の敗者審判はありません。
- (7) 試合後は2ペア揃って本部に結果を伝える。この後、状況に応じてコート整備を行う。
- (8) 持ち帰るボールについては、勝者が使用しなかった方のセットボール（1セットボール）、敗者が試合で使ったセットボール（2セットボール）とする。

■ 観客の応援について

- (1) インプレー中（サーバーがレディポジションについた時から）には、故意に声を出すことや身体の一部を動かすことを禁止する。
- (2) 観客の審判に対する一切の言動を禁止する。（観客は勝手にジャッジしたり、審判のジャッジにクレームをつけない。）
- (3) 選手に対する技術的なアドバイスは禁止する。

■ 棄権及び失格について

次に該当する場合は、学校（選手）に対してペナルティーを科すことがある。また、棄権及び失格とすることがある。

- 試合に際し選手が時間になってもコートに入っていない場合
- レフェリーや審判に従わない場合
- ケイレンなどによりプレーが続行できない場合
- ルールに著しく違反した場合

■ その他

- (1) 連続して試合を行う場合のみ、体調に考慮して15分以内の休憩を認める。
- (2) 試合球は、スリクソンHDとし本部で準備する。
- (3) 貴重品や携行品は、各校で責任をもって保管すること。
- (4) 各会場でゴミを散らさず、出たゴミは必ず持ち帰ること。
- (5) 各会場で、テニスコート周辺以外の場所には立ち入らない。また、他の妨げとなるような場所での練習は行わないこと。
- (6) 会場に自転車で来た者は、所定の場所に駐輪すること。
- (7) 事故やけがなどのないように体調の管理等に十分配慮すること。

■ 連絡及び問い合わせ先

熊本県テニス協会高校部会 部会長 八尋貴幸
携帯 090-9591-0351（ディレクター）
〒862-0953 熊本市中央区上京塚町5番1号
熊本県立熊本工業高等学校
TEL 096-383-2105
FAX 096-385-4482